

加盟団体各位

公益財団法人 全日本スキー連盟
競技本部長 皆川 賢太郎
スノーボード部長 岡崎 靖



平成 30 年度 SAJ 公認スノーボード B 級コーチ養成講習・検定会の開催について (通知)

日頃よりスノースポーツの普及振興にご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、標記事業について下記のとおり開催いたします。つきましては、申込者を取りまとめの上、平成 29 年 10 月 16 日 (月) 必着で SAJ 事務局あてに送付くださいますようお願い申し上げます。

記

- 会 期：《共通科目》
公益財団法人 日本体育協会において、平成 30 年 7～10 月開催
(受講申込平成 30 年 2～3 月)
《専門科目》
集合講習 1 (基礎理論・陸上実技)
① 講習全般
平成 29 年 10 月 24 日 (火)～10 月 26 日 (木) ※ 3 日間ともに講習
平成 29 年 11 月 17 日 (金)～11 月 18 日 (土) ※ 17 日講習、18 日第 1 次検
定試験 (第 2 次は再検定対象者のみ平成 30 年 4～5 月頃開催予定)
② ジャッジング (HP、SBS 指導者)
-->SAJ・FIS 公認スノーボード審判員検定会にて実施
平成 29 年 11 月 4 日 (土)～11 月 5 日 (日) ※ 予定
③ コースセッティング (AL、SBX 指導者)
-->SAJ 公認スノーボードセッター検定会にて実施
平成 30 年 1～4 月のいずれかの 2 日間
集合講習 2 (雪上実技・指導実習)
④ 雪上トレーニング、マテリアル、指導実践
平成 30 年 1～4 月のいずれかの 2 日間
- 会 場：①及び② 味の素ナショナルトレーニングセンター/国立スポーツ科学センター
〒115-0056 東京都北区西が丘 3-15-1 TEL 03-5963-0203
JR 赤羽駅よりバス約 10 分または都営三田線本蓮沼駅下車徒歩約 10 分
①の 11 月 18 日 岸記念体育館 (予定)
〒150-8050 東京都渋谷区神南 1-1-1 TEL 03-3481-2315
JR 原宿駅より徒歩約 6 分または JR 渋谷駅より徒歩約 12 分
③及び④ スキー場にて開催 (会場未定、後日受講者へ発表)
- 受 講 料：10,800 円/専門科目 (共通科目受講申込は別途後日受講者へ案内/受講料 19,440 円)
※ SAJ・FIS 公認スノーボード審判員検定会/SAJ 公認スノーボードセッター検
定会受験には別途 6,000 円の受講料がかかります。(有資格者は免除)
- 受 講 資 格：次の各号に掲げる条件を満たし、所属加盟団体の推薦を受け本連盟が認めた者。
(1) 本連盟の登録会員であること
(2) 公認 C 級コーチを取得していること
- 申 込 方 法：申込書を所属団体・加盟団体を通じ平成 29 年 10 月 16 日 (月) SAJ 事務局必着でお
申し込みください。申込受付後、随時本連盟にて審査し、受講決定者へ決定通知及び
受講案内をメールにて送付いたします。
- 持 参 品：筆記用具。陸上実技は室内履き運動靴、運動のできる服装。
雪上実技はスノーボード滑走用具。
- 同 封 書 類：公認スノーボードコーチ養成講習・検定会概要
SAJ 公認スノーボード B 級コーチカリキュラム
平成 30 年度 SAJ 公認 スノーボード B 級コーチ講習・検定会 スケジュール (予定)
SAJ スノーボードコーチ養成講習・検定会申込書

以上

公認スノーボードコーチ養成講習・検定会 概要

1. 趣旨

SAJ 公認スノーボードコーチ養成講習・検定会は、平成 24 年 3 月 30 日に文部科学省から公示された「スポーツ基本計画」に基づく施策として、「国際競技力の向上に向けたスポーツ指導者の養成・確保及び指導者体系の構築」の実践事業として位置づけられている。本事業は、本連盟公認規程に基づき、スノーボードの競技者育成・強化のために、SAJ スノーボード部の強化方針、強化理念を理解、共有した、地域から中央のスノーボード指導者の養成事業である。

2. 目的

競技界の先達として自覚と誇りをもってスノーボードの「競技者育成プログラム」に従い、ジュニアの競技者発掘育成からトップレベルの競技者の育成と競技力向上活動を積極的に実践し、その発展に務めることのできるスノーボード指導者を養成する。

- ① スノーボードの普及・発展に貢献できる指導者の養成。
- ② スノーボード指導者の資質・指導力の向上。
- ③ 国際的に活躍できるスノーボードコーチの養成。

3. 主催 公益財団法人 全日本スキー連盟

4. 主管 公益財団法人 全日本スキー連盟 スノーボード部

5. 資格

公認コーチは、A 級、B 級、C 級の 3 種とする。

- ① 公認 A 級コーチは、国際レベル（ナショナルチーム）の競技者を指導の対象とする。
- ② 公認 B 級コーチは、全国レベル（本連盟強化育成）の競技者を指導の対象とする。
- ③ 公認 C 級コーチは、地域レベル（加盟団体強化育成）の競技者を指導の対象とする。

6. 受講資格

SAJ 登録会員の内、所属加盟団体の推薦を受け、下記の条件を満たした者。

- ① C 級コーチ受講者は、受講年度の 4 月 1 日現在満 20 歳以上の者
- ② B 級コーチ受講者は、C 級コーチ資格を取得し、本連盟が認めた者
- ③ A 級コーチ受講者は、B 級コーチ資格を取得し、本連盟が認めた者

B 級、A 級における本連盟が認めた者とは、原則以下の通りとする。

- ◎ 所属加盟団体の強化コーチまたは団体長が認める地域指導者の中で、直近 2 年間、SAJ の強化事業参加や指導選手の「B 級：SAJ 公認（全国レベル）／A 級：FIS 公認（国際レベル）」大会における成績など、指導活動の評価実績がある者

7. カリキュラムと実施方法

資格区分	カリキュラム		実施機関
C 級コーチ	専門科目	20 時間以上	SAJスノーボード部
B 級コーチ	共通科目	共通科目Ⅰ＋共通科目Ⅱ＋共通科目Ⅲ 152.5時間（集合講習40h、自宅学習112.5h）	日本体育協会 （以下「日体協」）
	専門科目	60 時間以上	SAJスノーボード部
A 級コーチ	共通科目	共通科目Ⅳ 40 時間（集合講習 40h） ※ B 級コーチ資格取得者は、共通科目Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲの講習・試験免除	日本体育協会
	専門科目	40 時間以上	SAJスノーボード部

※ カリキュラムの科目詳細は別紙『SAJ 公認 スノーボード A・B・C 級コーチ カリキュラム』参照。

※ ハーフパイプ・スロープスタイル・ビッグエア種目の指導者はジャッジング、アルペン・クロスの指導者はコースセッティングのカリキュラムを受講する。また B 級・A 級は、ジャッジもしくはセッター資格の取得・登録を義務付ける。ただし、受検者年齢はそれぞれの規程（受検年の 1 月 1 日現在で、ジャッジ 23 歳以上、セッター 23 歳以上 50 歳以下）に準ずる。なお、既に資格を有する場合は当該カリキュラムの受講を免除とする。

※ JOC ナショナルコーチアカデミー及び JOC 国際人養成アカデミー修了者へは、A 級カリキュラムにおける一部科目の受講を免除とする。（ただし受講料の免除はなし）

※ 受講期限については、日体協が実施する共通科目、本連盟が実施する専門科目ともに受講年度から 4 年度内とする。

8. 費用

資格区分	C 級コーチ	B 級コーチ	A 級コーチ
受講料／受講有効期限：申込年度含め 4 年間	12,000 円	共通 19,440 円 専門 10,800 円	共通 28,080 円 専門 17,280 円
資格公認料	10,000 円	13,000 円	13,000 円
資格登録料／SAJ 会員登録時 1 年毎	1,000 円	1,000 円	1,000 円
資格更新料／資格有効期限：取得年度含まず 4 年間	5,000 円	15,000 円	15,000 円

※ 審判員・セッター講習会受講・検定会受検の場合は別途当該事業へ申し込みを行うこと。（参加料：研修会 4,000 円／検定会 6,000 円）

※ B 級・A 級の共通科目受講料は保有資格により一部免除があるため、日体協発行の『受講の手引き／共通科目免除概要および受講料』を参照のこと。

※ B 級・A 級資格更新料には日体協公認コーチ・上級コーチの費用を含む。資格取得者の資格更新料納入は個別で日体協へ行うこと。

9. 検定の合否（専門科目）

資格区分	合格正答率	総合正答率 60%以上の場合
C 級	筆記：各科目正答率 60%以上	不合格科目のレポートによる再判定
B 級	筆記・口頭：各科目正答率 60%以上	不合格科目の次期検定会受検
A 級	筆記・口頭・実技：総合正答率 60%以上	—

※ 公認 B 級コーチ及び公認 A 級コーチの共通科目については、日体協の検定試験合格基準に準ずる。

10. 資格の更新

資格の有効期限は取得年を含まず 4 年間とする。資格取得者は、資格有効期限が切れる 6 か月前までに 2 回以上の資格更新研修を受講しなければならない。ただし、B 級コーチまたは A 級コーチ専門科目を受講中の場合は、所持資格を更新とする。

《参考》 SAJ スノーボード／コーチングスタッフストラクチャー

レベル	C		B		A	
役職	SAJ強化委員 加盟団体強化コーチ (地域指導者)		SAJコーチ(ジュニア・ユース担当) SAJ強化委員		SAJコーチ(ナショナルチーム担当)	
活動場所	地域レベル(加盟団体)		全国レベル(中央)		国際レベル(世界)	
指導対象	加盟団体強化選手 (地域競技者)		SAJ強化指定選手 Jr・Youth		SAJ強化指定選手 A・B・C	
資格	SAJ公認コーチ	SAJ公認スノーボードC級コーチ	SAJ公認スノーボードB級コーチ		SAJ公認スノーボードA級コーチ	
	日体協公認コーチ	—	日体協公認コーチ		日体協公認上級コーチ	
	SAJ・FIS公認審判員	SAJ・FIS公認スノーボード審判員(任意)	SAJ・FIS公認スノーボード審判員		SAJ・FIS公認スノーボード審判員	
	SAJ公認セッター	SAJ公認スノーボードセッター(任意)	SAJ公認スノーボードセッター		SAJ公認スノーボードセッター	

※ 競技役員資格において、ハーフパイプ・スロープスタイル・ビッグエア種目の指導者は SAJ・FIS 審判員、アルペン・クロス種目の指導者は SAJ セッターに該当する。

※ 本表は SAJ スノーボードのコーチングスタッフの活動に関する資格レベル例を示したもので、当該の役職は SAJ (及び C 級の一部は各加盟団体) が承認するものであり、各レベルの資格取得者の役職を保証するものではない。

以上

SAJ公認 スノーボードB級コーチ カリキュラム

区分	科目名	カリキュラム内容	時間数		
			集合	その他	計
1	スポーツ文化・社会・組織	① スポーツ基本法・オリンピズム	1	0	1
		② 日本のスポーツ組織	1	0	1
	コーチング論	③ 指導者に求められる指導理念	1	0	1
		④ 指導法(競技者育成プログラムの理解)	1	4	5
	スポーツ科学	⑤ 運動機能解剖学(筋、骨格、神経系)	1	0	1
		⑥ 運動生理学(呼吸循環器系とエネルギー代謝)	1	0	1
		⑦ バイオメカニクス	1	0	1
	スポーツ栄養学	⑧ 栄養管理	1	0	1
	スポーツ心理学	⑨ メンタルマネジメント	1	0	1
	トレーニング論	⑩ トレーニング目標設定とトレーニング計画・プログラムの作成	1	0	1
		⑪ 科学的測定数値の分析・理解、獲得過程の評価と競技運動への効果	1	0	1
	医学知識と安全管理	⑫ スポーツ現場における安全管理と事故・傷病への対応	1	0	1
		⑬ 症例の多いケガに対する現場対応	1	0	1
	マネージメント論	⑭ 強化事業の計画・運営・評価・改善とチームマネージメント	2	0	2
		⑮ 情報戦略と競技評価(情報収集・分析・加工、IT活用)	1	0	1
		⑯ キャリアデザイン	1	0	1
	アンチ・ドーピング	⑰ アンチ・ドーピング理念	1	0	1
		⑱ ドーピング検査・RTPと居場所情報提出	1	0	1
	コミュニケーション	⑲ ロジカル思考におけるコミュニケーション	2	0	2
		⑳ ミーティングの効果的な進行	1	0	1
	メディア論	㉑ スポーツとメディアの関係性	1	0	1
		㉒ SNSの活用とリスクマネジメント	1	0	1
	競技知識	㉓ ICR(国際競技ルール)	2	0	2
		㉔ ジャッジング/コースセッティング(雪上実技含む)	0	10	10
計			26	14	40
2	体カトレーニング(アドバンス)	① 柔軟性トレーニング(スタティック・ダイナミック)	1	0	1
		② 体幹トレーニング	1	0	1
		③ 持久性トレーニング(有酸素系・無酸素系)	1	0	1
		④ 筋カトレーニング	1	0	1
		⑤ コーディネーショントレーニング(スピード・アジリティー)	1	0	1
	雪上トレーニング	⑥ 雪上ウォーミングアップ・ダウンとコンディショニング	1	0	1
		⑦ 基本的滑走能力(加速動作)	2	0	2
		⑧ 専門的滑走能力(種目別)	2	0	2
	マテリアル	⑨ マテリアルメンテナンスとチューニング	2	0	2
計			12	0	12
3	指導実践	① 指導実践(雪上滑走)	4	0	4
		② 指導実践(パフォーマンス分析)	2	0	2
		③ 指導実践(ミーティング・ディスカッション)	2	0	2
	計			8	0
計			46	14	60

※「㉔ジャッジング/コースセッティング」は「SAJ・FIS公認スノーボード審判員検定会/SAJ公認スノーボードセッター検定会」受験及び合格をもって修了とする。

平成30年度 SAJ公認 スノーボードB級コーチ養成講習・検定会 スケジュール (予定)

2017/9/19現在

講習会		講習会		講習会		検定会	
10月24日	10月25日	10月26日	10月27日	10月28日	10月29日	10月30日	10月31日
火	水	木	金	土	日	月	火
JISS研修室A	NTC小研修室①	NTC研修室①	JISS研修室A	JISS研修室A	岸林会講室(手配中)		
13:00~	受付	1	休憩	1	休憩	1	休憩
13:20-14:20	ガイダンス コーチ規程及び制度概要	13:20-14:20	競技知識1 ・ICR(国際競技ルール)	13:20-14:20	スポーツ科学2 ・運動生理学(呼吸循環器系とエネルギー代謝)	11:20-12:20	コーチング論2 ・指導法(競技者育成プログラムの理解)
14:30-15:30	コーチング論1 ・指導者に求められる指導理念	14:30-15:30	競技知識1-2 ・ICR(国際競技ルール)	14:30-15:30	スポーツ科学3 ・バイオメカニクス	11:00~	集合
15:40-16:40	医学知識と安全管理1 ・スポーツ現場における安全管理と事故・怪病への対応 ・時差、高地、気候対策	15:40-16:40	スポーツマネジメント論1 ・強化事業の計画・運営・評価・改善 とチームマネジメント	15:40-16:40	スポーツ科学3 ・バイオメカニクス	15:40-16:40	体カトレーニング(アドバンス) 柔軟性トレーニング(スタティック・ダイナミック) 体幹トレーニング(有酸素系・無酸素系) 筋力トレーニング ・コアトレーニング(コアコントロール)
18:50-17:50	医学知識と安全管理2 ・症例の多いケガに対する現場対応 ・競技発展における傷害事故レポート	16:50-17:50	コミュニケーション ・ロジカル思考におけるコミュニケーション ・ミーティングの効果的な方法	16:50-17:50	トレーニング論1 ・トレーニング目標設定とトレーニング計画・プログラムの作成	15:50-17:50	
1	休憩	1	休憩	1	休憩	1	休憩
18:50-19:50	アンチ・ドーピング1 ・アンチ・ドーピング理念	18:50-19:50	メディア論1 ・スポーツとメディアの関係性	18:50-19:50	スポーツ論3 ・キャリアデザイン	18:50-19:50	
20:00-21:00	アンチ・ドーピング2 ・ドーピング検査・RTPと居場所情報 ・ドーピング検査と制裁措置対応	20:00-21:00	メディア論2 ・SNSの活用とリスクマネジメント				

※カリキュラムスケジュール、講師とも期間内で変更の可能性もあり。